

別紙 2

No.	第8回警察庁入札等監視委員会において検討等を要するとされた案件				今回フォローアップの内容
	案件名	所属名	委員意見	回答内容	
1	警察学校映像射撃訓練装置保守点検業務委託	群馬県警察本部 警察庁人事課	本件のように、製造メーカー以外が保守点検を行うのが難しいのであれば、保守点検契約において競争性を確保することができないのはやむを得ないと思われる。 製造メーカーが複数あるのであれば、装置の導入時だけが唯一の競争であり、導入後の保守点検は、競争性がないことを前提に装置の調達を考えなければならないのではないかと。	これらを踏まえて検討する。	映像射撃訓練装置の整備状況については、担当者が説明を行った。 今後、映像射撃訓練装置を調達する際は、定期点検を含むトータルコストを考慮することが可能かどうかも含めて検討していくこととする。
2	アナログ電話機(W)4,051個	近畿管区警察局 警察庁情報通信企画課	予定価格の設定について、検討してはどうか。	了解した。	予定価格については、実績のみならず、複数の業者から見積書を徴取するなど最低額を採用することとしている。 また、仕様書の内容を見直すことにより、市場動向を踏まえた予定価格を算定するよう改善を図っている。
3	住宅地図データ(ゼンリンZmap-Town II)外8点	警察庁情報通信企画課	毎年、データを更新しなければならない状況である以上、データ更新で価格を下げることは極めて難しい。 今後、システム本体を更新する際には、将来のデータ更新も踏まえたトータルコストをどれだけ下げられるかを工夫することが重要といえる。	今後、検討していきたい。	地図データを利用して業務を行う本件システムにあつては、一般的な地図データ上に業務上必要な情報を表示させるための地理情報システムと呼ばれるシステムの採用が不可欠である。しかしながら、現在市販されている地理情報システムは、いずれも地図データ更新時にデータを一部加工する必要がある仕様となっており、この加工作業が応札者減少の原因の一つとなっているものと考えられる。 今後、システム本体を更新する際には、地図データ更新時にこのような加工の手間が極力生じないシステムとなるよう十分検討するとともに、市販されている地理情報システムで地図データ更新時に加工の必要がない製品がないか市場の動向に配慮することによって、より多くの業者が地図データ更新の入札に参加しやすくして競争性を高め、将来的なコストの低減を図る。
4	機動隊員用プロテクタ	警察庁会計課	入札参加業者が毎回同じであれば、談合等のいらぬ疑いが生じるおそれがあるが、それを払拭するには入札参加業者以外の見積りと比較するなどして、適正な価格であることを証明する必要があるのではないかと。	入札参加業者を増やす努力はしており、本件についても官報やHPで広く公表はしているが、同じ業者しか参加してこないのが実情である。 入札参加業者以外の見積りについては、他の業者からの徴取が可能か確認することとする。	入札参加業者以外の業者から見積書を徴取し、比較した上で予定価格積算の参考とすることとした。